



問 通学路における交通安全確保を願う

原田 久美子 議員



録画映像はこちら

Q 千葉県八街市で下校中の小学生5名の死傷という事故が発生した。

このような痛ましい事故を防止するためには、定期的に通学路の点検を行い、安全対策を講じていくしかない。

そこで、太宰府東小学校門前と太宰府東中学校に入る道路について3点伺う。

- ①通学路の安全確保のための点検及び対策の現状について
- ②児童・生徒に対する交通規範の周知徹底について
- ③横断歩道の設置について

A 理事 ①市通学路交通安全プログラムを策定し、地域や学校、関係機関と協力しながら、通学路の危険箇所の削減に積極的に取り組んでいきます。

②市内の全児童を対象に、毎年4月から6月に交通安全教室を実施しています。危険歩行や自転車の危険運転等の映像を見て、事故の恐ろしさを視覚的に感じるよう、正しい交通法規について学習を行っています。

部長 ③自治会、学校、

筑紫野警察署、市で協議を行っており、今後、対策案をもって協



議を進めていきます。また、太宰府東中学校に入る道路の横断歩道の設置も、地元の意向を確認しながら協議を進めていきます。

全質問項目

- ◇通学路等における交通安全確保について
- ◇土地の有効活用について
- ◇ふるさと納税について



問 楠田市政4年の自己評価は何点なのか

藤井 雅之 議員



録画映像はこちら

Q 市長の任期満了が迫っている中、記者会見で、再選を目指して市長選へ出馬することを表明された。

市長は、国会議員として防衛政務官という政府の役職も経験されたが、市のトップとして、市長として、時には悩みながらも多くの判断をされたことかと思う。

2期目の選挙戦に向けて公約を示すと同時に、1期目の総括をきちんと行う必要があると思うが、楠田市長の1期4年間の自己評価を述べ、率直に100点満点中何点だったかと思っているのか伺う。

A 市長 太宰府を日本を代表する都にとの目標も概ね達成できたと考えています。

一方で、プライベートも全てなげうった激務に今後も耐えられるのか、資格や能力があるのか、もっとふさわしい生き方があるのではないかと、本気で自問自答し、周囲に相談することもありました。そういう意味では概ね100点と言えるかもしれません。

もしも100点と言えない、全く市長に向いていない、0点と、赤点と言えるかもしれません。

いづれにしても、世のため人のため、市のため市民のために、持てる力を出し尽くし、お役に立



全質問項目

- ◇4年間の楠田市政の評価について



問 佐野東地区のまちづくりはどうなるのか

むらやま ひろゆき
村山 弘行
議員



録画映像はこちら

Q 佐野東地区のまちづくりは、太宰府市総合体育館とびうめアリーナ建設の際に、西地域のまちづくりの一つと位置づけ、今後も行政の方針として佐野東まちづくりを進めるとなっていたと記憶をしています。

もはや太宰府市の方針として佐野東まちづくりは位置づけられたものとして理解しているが、施政方針においても触れられておらず、この間の経過をどのように受け止め、今後どのように取り組んでいくのか、JR太宰府駅設置の取組みと併せて伺う。

A 市長 佐野東地区のまちづくりは、昭和63年にJR九州との覚書締結以降、議会における特別委員会の設置や地元関係者で構成された懇話会における協議、佐野東地区まちづくり構想検討委員会による議論及び構想の策定、平成28年度に実施した佐野東地区まちづくり調査などの経緯があります。

佐野東地区のまちづくりについては、議員からの貴重な意見を念頭に置き、行政の継続性、一貫性と新たなまちづくりの視点、持続可能な都市構造への転換なども総合的に勘案しながら、今後も検討を重ね、方針を決定



佐野東地区

していきたくと考えています。

全質問項目

◇佐野東地区における街づくりとJR太宰府駅設置について



問 教育委員会は児童・生徒のために役割は果たしているのか

はせがわ こうせい
長谷川 公成
議員



録画映像はこちら

Q 暴言を吐き、生徒を追い詰め自傷行為を起させた教師の処遇はどのように検討されたのか。

本市教育委員会は、自傷行為を起した生徒を全く問題視せず、これまで一切対応を行ってきていない。
教育委員会とは行政機関であり、主に児童・生徒のため、教育現場の環境整備等を行うよう設置された組織であると認識するが、本市教育委員会は児童・生徒のために役割は果たしているのか伺う。

A 理事 教師は、生徒の心を傷つけようとしたわけではなくと捉えています。生徒の心を傷つけてしまったことを重く受け止め、校長が当該教師への指導を行うとともに、当該教師が当該生徒及び保護者に謝罪しました。

市教育委員会は、事実確認を行うとともに、市教育委員会の生徒指導担当を中心に事案を共有し、学校の対応の支援や指導を行い、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとも連携を図りました。
今後も、市教育委員会は学校と連携の上、同様の事案を二度と生じさせ



全質問項目

◇教育委員会における9月議会での質問の対応について
◇側溝の蓋かけ整備と道路事情について



問 市長一期目の公約の自己採点は

橋本 健 議員



録画映像はこちら

Q 市長の公約、3つの工程と7つのプランについて、自己採点はいかかなものか、次の3項目について何う。

①7つのプランの中にそれぞれ具体的な実施項目を掲げられていたが、進捗は。

②2つ目のプランの中の中学校給食は、導入の方向に変化しつつあるが市長の決意は。
③3つ目のプラン「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について、中・長期滞在型次世代観光産業など地場産業を創出し、地場土産産業の振興で太宰府の収益を増加させる具体的なプランは。

A 部長 ①7つのプランを基に第2期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、施策の実現に向けて着実に取り組み、おおむね公約は達成できてきたものと認識しています。

理事 ②公共施設整備基金への積み立てを提案したことは、中学校完全給食を実現していくという意思表示です。

部長 ③古民家ホテルが開業され、宿泊、飲食施設が着実に増加しています。

今年度から梅をさらにブランディングし、企業などとの連携による新製品を開発して地場土産とするとともに、ふるさと納税の返礼品の種類を増やし、税収の飛躍的増加を図ります。

全質問項目

◇市長の一期目公約3つの工程と7つのプランについて



問 広報での情報の正確性と政治的中立性の確保はできているのか

木村 彰人 議員



録画映像はこちら

Q 自治体の広報に求められる役割

は、市民に正確な情報を分かりやすく伝えることであり、広報活動で配慮すべき点は、政治的中立性の確保が挙げられる。

しかし、広報だざいふ11月号の特集記事の内容に関して、情報の正確性と政治的中立性に不安を感じている。そこで2点何う。

①広報だざいふの掲載情報は、正確性と政治的中立性を十分確保できているのか。
②正確な情報と正しいメッセージを発信するために、どのような取組がなされているのか。

A 理事 ①限られた紙面の中で市民の皆様に分かりやすくスピーディーに情報をお届けすることを心がけ、情報の正確性と政治的中立性を確保しながら発行しています。

②各部署、経営企画課・広報係、広報委員会とそれぞれの編集作業段階において、表記に誤りがないか確認する作業を行っており、正確性は十分確保できているものと考えています。

また、政治的中立性についても、事業報告や啓発などの政治的中立性を考慮すべき案件

全質問項目

◇自治体の広報に求められる、情報の正確性と政治的中立性の確保について





問 ゆとりある学校生活を確保せよ

こうたけ
神武 綾
あや
議員



録画映像はこちら

Q コロナ感染拡大が収まり、以前の学校生活に戻りつつあるが、子どもたちは精神的にも身体的にも様々な影響を受けている。

そのような中、水城小学校及び学業院中学校の校区において宅地開発やマンション建設が続き、児童・生徒増加による学校の受入れや道路整備などが懸念されていることから、3点伺う。

①都市計画、想定された人口増と理解してよいのか。

②老朽化している2校の学校整備に伴う学校敷地確保の進捗について。

③このエリアの人口増を見通した学校再編等について。

A **部長** ①行政運営上、将来人口の予測は必要かつ重要であり、総合計画あるいは総合戦略策定において将来目標人口を設定しますが、建築物の用途や規模を事前に把握して人口を予測することは非常に難しいです。

部長 ②当該学校敷地内の史跡指定地や、周辺の公有化された史跡地もあるため、文化庁と有効活用について機会あるごとに協議してまいります。

理事 ③今後の児童・生徒数の推移を慎重に見極めるとともに、地域行事や登下校の見守りなど地域コミュニティ

への影響、保護者の意見なども考慮しながら検討していく必要があると考えています。



全質問項目

- ◇ゆとりある学校生活の保障について
- ◇コミュニティバスまほろば号について



問 市政を担った4年間の反省点とこの先の

かさり
笠利 毅
つよし
議員



録画映像はこちら

Q 市長は市政を継続して担う意思を表明されており、次期、何をどのように進めていきたいのかが市民の関心事と言っております。

現在の市民ニーズ、市の将来像、地方自治の捉え方、市の置かれている状況、また国や県、筑紫地区など、さらには世界との関わり、こういった様々な要素のバランスを市長がどのように判断しているのか。

公約のうち市長が未達成と感じているものについて、後どのように取り組んでいくつもりかを伺う。

A **市長** 7つのプランについては、任期中でできる限り達成することを常に意識し、持てる力を出し尽くして市政運営に当たってまいりました。

不十分なものをあえて1つ挙げれば、やはり令和発祥の都としての取組でしょう。

そうした思いから、2期目は「令和の都さらに羽ばたく太宰府」と掲げ、副題は「課題解決先進都市を目指して」としています。

令和のご縁をいただいた直後のような勢いを取り戻すのは至難の業かもしれませんが、令和の都としてのまちづくりを改めて進めるとともに、

地域や我が国、世界の共通課題を先んじて解決できるような、令和の都にふさわしい先進的な取組も行っていきたいと考えています。



全質問項目

- ◇市政を担った4年間の反省点について



かどた
なおき
門田直樹
議員

問 ネット時代における教育のありかたを問う



録画映像はこちら

Q ICT推進の現状と教育のあり方を伺う。

- ①市のホームページの改善点
- ②ICTを統括する責任者の現状
- ③システムベンダーに過度に依存しないシステムの調達
- ④タブレットを活用した教育の効果
- ⑤持ち帰り機器を使ったいじめへの本市の対応
- ⑥従来の学び方で情報に感わされない思考力・判断力を培うのも大切である。これから、どう子どもを人間性を育てていくか。

A 理事 ①階層を3階層に統一。機能改善。そして太宰府らしいデザインでアピールしています。

- ②責任者は副市長ですが、文書情報課が中心となって各担当の要望とベンダー提案の分析・調整をしています。
 - ③事業プロセスの自動化を進めるRPA(ロボテック・プロセス・オートメーション)の実証事業を行う予定です。
- 理事** ④例えば、全員の意見を瞬時に集約し共有できます。他方、一人一人が主体的に自分のペースで学ぶこともできます。

全質問項目

◇ICT推進とネット時代における教育のありかたについて



- ⑤操作ログを記録し、いじめ事案にも対応できるようにしています。
- ⑥思考力・判断力に加え、日常生活での道徳性、情報社会への理解を深めていきます。

3月定例会の日程(予定)

会議の開始時刻は午前10時からです

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21	22	23	24	25	26
			天皇誕生日		本会議 市長提案理由説明 予算特別委員会	
27	28	3/1	2	3	4	5
			本会議 質疑 委員会付託	総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	
6	7	8	9	10	11	12
	建設経済 常任委員会		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)	
13	14	15	16	17	18	19
		予算特別 委員会	予算特別 委員会	予算特別 委員会 (予備日)		
20	21	22	23	24	25	26
	春分の日	本会議 委員長報告・ 質疑討論・採決				

議会の傍聴について

本会議場の傍聴人数は通常は51名ですが、状況により傍聴人数の設定を変更することがあります。詳しくは議会事務局までご確認ください。